



430号
〒144-0052 東京都大田区蒲田 5-10-2 日港
福会館 5階
Tel 03(3733)5621 Fax 03(3733)5622
メール roren@kensu.jp
ホームページ http://www.kensu.jp/
全国検数労働組合連合
書記局



6月28日(金) 13:30~14:50 第4回 検数労連13夏季一時金交渉 労組は休憩(闘争委員会)を挟み、「これ以上の修正は困難」と判断し、「現回答をもって機関手続きに入る」旨を表明した。

第4回 検数労連13夏季一時金交渉経過

6月28日(金)第4回検数労連13夏季一時金交渉で、組合は両協会に対し、修正回答を求めました。

【全日検】

前回の交渉での回答提示にあたっては説明したが、今一時金については現在の収支状況を重視するか、それとも今後不安を考慮するかを検討した結果、メリハリを付けた回答として、現時点で出せるだけの回答を提示した。また、企業内で山積する課題も多くある中で、最大限努力した回答であり、これ以上の修正回答は困難であることを理解していただきたい。

【日検協会】

これまでの一時金交渉の中で、縷々詳細な説明を労組にはしてきた中で、現回答が協会として最大限努力した回答であり、これ以上の修正回答は困難であることを理解願いたい。

【組合主張】

組合は、粘り強く追及しましたが、両協会の回答に変化がなかったことを受け、休憩(闘争委員会)を挟み現時点での到達点等を検証し、両協会に対し、次のとおり主張を行ない、現回答をもって機関手続きに入る旨を表明しました。

【両協会に対し】

①両協会ともに昨夏比較では総額的に上回ってはいるものの、昨冬比較では総額的に下回っており、不満を残す結果となった。

②今回も要求していない部分の回答提示がされた部分には強い不満が残った

【全日検に対し】

①見習い職員、契約職員、契約職員は平成24年度収支実績に大きく貢献しているにも関わらず、全国一律6万円、9万円の回答は超低額である。これでは労働意欲を失わせるばかりか、全日検の今後の事業基盤強化にまったく繋がらない。したがって、職員と同様の計算方式による回答は必要であり、現回答では理解できない。

【日検協会に対し】

①要求との関係では総額的に不満であるが、労組要求の趣旨を組み入れた回答には一定評価できる。

②昨夏比較では総額的に上回ったものの、昨冬比較では総額的に下回り不満を残す結果となったが、昨夏回答から今一時金まで本部分(乗率・一律)での変動はなく、頭打ち感否められなかった。

《 日検協会最終回答(抜粋) 》

支給額
職員・雇員
算式 (本給+家族手当) × 乗率 + 一律 + 都市調整加算 + α
(195,632 + 8,254) × 2.0 + 30,000 + 24,150 + α
全国平均 462,282円 + α
見習員
{(本給+家族手当) × 2.0 + 一律 30,000円 + 都市調整加算 + α} × 0.8ヶ月 × 在籍日数 / 180日

《 全日検最終回答(抜粋) 》

支給額
算式 (本給+役付) × 乗率 + 一律 + α
職員平均 (196,535) × 1.208 + 110,381 + α
一律 職員A 160,000円
職員B 100,000円
全国一人平均 347,795円 + α
職員A平均 : 417,595円 + α
職員B平均 : 333,192円 + α
特別評価 5,000円
その他身分
見習い・契約職員 全国一律 60,000円
契約雇員 全国一律 90,000円

※地域闘争委員会は7月3日(水) 13:00までに、中間見解に対する意見をまとめ、文書にて報告すること。
※次回交渉
7月4日(木) 10:30~
第5回検数労連13夏季一時金交渉